

令和7年10月22日

令和7年度 加古川東高校 合同防災避難訓練 の報告

報告者；菅野信成

10月22日（水）10：00～12：00、恒例の加古川東高校との「合同防災避難訓練」が行われました。町内会としては7月の子供防災研修に続く2回目になります。当日は天候不良でしたが、避難場所を体育館に変更して実施しました。町内会からは天候不良の関係もあり参加者は20名でした。東高校の生徒さんは約1,000名と教職員の皆様方です。

防災講話は稲美町の危機管理課の北川寿一氏が、過去に発生した実際の災害時の避難状況について阪神大震災をはじめとする東日本大震災、熊本地震、能登半島地震の状況について説明され、地域コミュニティの大切さを説かれました。災害時における「公助」は殆ど期待できず、「自助・共助」に頼らざるを得ないこと。そのためには普段からの地域コミュニティが非常に重要であることを語られました。

改めて栗津町内会でも近隣の住民同士の絆の大切さを感じました。日常生活において挨拶をはじめとする「声かけ」が大切です。皆さん氣さくに町内会やグループの色々な行事に参加し、会話を交わしましょう！！



* 少し寂しい町内会の防災講演会



* 体育館で東高校の生徒さんたちと

以上報告します。